

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	04	0405	家畜防疫対策事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	家畜の防疫体制を強化する。					
対象	市内畜産農家					
意図	畜産業の元である家畜の防疫体制を強化し、家畜伝染性疾病等を未然に防ぎ、安定した畜産経営ができる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○花巻市家畜防疫対策事業補助金 花巻市内の肉用繁殖牛及び乳用牛に牛6種混合ワクチンを接種した場合に、1頭当たり200円を補助する。 接種頭数 1,886頭						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	牛6種混合ワクチン接種頭数	頭	計画		2,400	
			実績		1,886	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	牛6種混合ワクチン接種頭数	頭	目標		2,400	
			実績		1,886	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
飼養農家戸数の減少に伴う対象頭数の減少や、実施を希望しない農家がいたため減となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	疾病予防により、花巻市の基幹産業である農業の一つである畜産経営の安定が図られるため。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	ワクチン接種を農家に浸透させることにより、家畜の健康保持と生産性の向上が図られるため。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	安定した畜産経営が図られるため、削除できない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内肉用繁殖牛及び乳用牛全頭を対象とするため公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
平成25年1月に青森県において呼吸器病が発生し成牛22頭が死亡する事例が確認された。県南地域においては、呼吸器病が平成20年から平成24年までで16件発生し、年々増加傾向にあるため、ワクチン接種による感染・まん延防止が必要であり、市、花巻農協、岩手県農業共済組合中部地域センターで農家負担分を一部補助し、ワクチン接種に対する意識啓蒙が図られたほか、安定した畜産経営が図られた。 北上市では平成26年度より実施。（負担割合6種混合ワクチン接種1頭当たり、2,320円を市200円、JA200円、岩手県農業共済組合中部地域センター300円、残り1,620円を農家で負担） 花巻市においても、6種混合ワクチン接種1頭当たり、2,320円を市200円、JA200円、岩手県農業共済組合300円、残り1,620円を農家負担で実施する。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原慶悦 内線 6-290

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	04	0405	家畜防疫対策事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			377		377
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		377		377

事業期間 単年度繰返 ○ 期間限定 [平成 27 年度 ~ 平成 29 年度]

部重点施策における目標
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯

平成25年1月に青森県において呼吸器病が発生し成牛22頭が死亡する事例が確認された。県南地域においては、呼吸器病が平成20年より平成24年までで16件発生し年々増加傾向にあるため、ワクチン接種による感染・まん延防止が必要である。

事業概要

○花巻市家畜防疫対策事業補助金
花巻市内の肉用繁殖牛及び乳用牛に牛6種混合ワクチンを接種した場合に、1頭当たり200円を補助する。
接種頭数 1,886頭

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

畜産農家への呼吸器病及びBVD・MD病のワクチン接種に対する意識啓蒙。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

牛呼吸器病とは…肺炎を引き起こす病気であり、ウイルスは伝染性である。治療しても治りにくく、再発を繰り返し、発育不良の後遺症を抱えるケースが多く死亡する場合もある。
また、下痢になると免疫力が落ちる為、呼吸器病にかかりやすくなる。
牛ウイルス性下痢・粘膜炎（BVD・MD病）とは…発熱や下痢、致死性の高い粘膜炎を引き起こす病気。本病は届出伝染病であり、流産や発育不良を起こす場合もある。
現在、岩手県の成牛市場でもワクチン接種が義務づけられており、各農家にてワクチンを接種している。

平成25年1月に青森県において呼吸器病が発生し成牛22頭が発生する事例が生じた。県南地域においても、平成20年から平成24年までで16件呼吸器病が発生し年々増加傾向にある。

罹患すると経済的損失が大きいことから
研修会を開催

平成26年1月に呼吸器病にかんする研修会(参加者:花巻市、北上市、西和賀町、遠野市、花巻農協、岩手中部農業共済組合)を開催し、予防の必要性を共有。

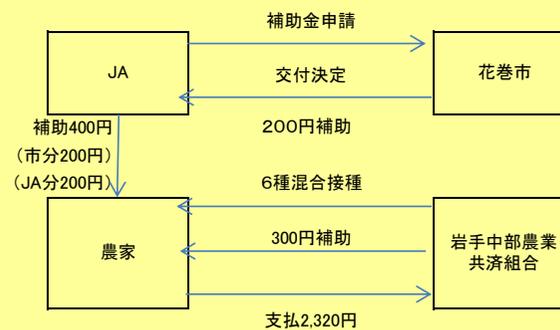
JA花巻管内一斉に補助事業を実施予定
(北上市については、平成26年度より実施)

呼吸器病とBVD・MD病の両方のワクチンである「6種混合ワクチン」に対して、現在BVD・MD病のワクチンとしている「5種混合ワクチン」との差額623円を市、農協で各200円、岩手中部農業共済組合で300円を補助する。
※ワクチンは年1回の接種で有効である。

○花巻市家畜防疫対策事業補助金
対象：市内繁殖に要する牛（母牛）全頭（H25繁殖牛1,500頭+H25乳用牛900頭=合計2,400頭）
交付先：花巻農業協同組合
補助金：牛6種混合ワクチン接種した場合に1頭当たり200円補助する。

1頭あたり 6種混合ワクチン接種料金 2,320円

参考
6種混合ワクチン 2,320円/本
5種混合ワクチン 1,697円/本
差額 623円/本



19節 花巻市家畜防疫対策事業補助金 377,200円

内訳
補助金200円/頭×1,886頭=377,200円